

令和6年度 学校だより3月号

学校と家庭、地域をつなぐ



市野谷だより

発行日 令和7年3月3日

流山市立市野谷小学校

〒270-0137

流山市市野谷 283 番地

Tel 04-7158-2770

電話対応時間 7:30~17:30

<https://schit.net/nagareyama/itinoyasyou/>



本校 web ページ QR

## 「みらいを切り拓く力の育成」

まもなく開校1年目が終わります。

学校が開校するという事は、すべての行事や企画をゼロから作り上げる大変な1年となりましたが、「チーム市野谷」と「オール市野谷」の土台を築くべく、様々な活動に努めて参りました。

まず、「チーム市野谷」として、先生方と子どもたちで「より良い学校づくり」になるよう様々な取り組みを行いました。

本校の特色としての民間企業等と連携した教育「官民連携教育」をスタートさせました。避難訓練では、起震車体験を導入し、地震の多い日本だからこそ、その揺れを抑える優れた免振技術をお持ちの企業からその技術について高学年は学びました。また、食品企業の「食品フードロス」についての取り組みを学ぶとともに、自分たちもできることはないか？との問いに、子どもたちは様々なアイデアを出しながら学びました。

官民連携教育は、初めての取り組みでしたが、環境問題、生物の危機、食糧問題、健康、運動、科学、平和教育、インフラ整備、ネットワークの仕組みなど多くのジャンルの企業等、30社(団体)以上が子どもたちの学びのために来てくださいました。

本校の教育目標「みらいを切り開く力の育成」。子どもたちは、様々な企業等から新たな知見を学ぶだけでなく、世の中の課題を理解し、何か自分にもできることはないかと考え、自分から進んで学び、取り組むことがこれから「未来を切り拓く子どもたち」には大切ではないかと考えています。

次に「スポーツフェスティバル」。子どもたちが自分から進んで運動を楽しむ力の育成を目指し、ダンス動画を活用して自分で楽しみながら練習できるようにし、また、友だちと楽しみながら運動しました。そして、教員と子どもたちで各学年の発表内容や種目を創りあげ、運動することの喜びや楽しさを味わいました。そして、保護者の方々にも、校庭を360度開放して子どもたちの姿を存分にご覧いただくことができました。まだまだ、見直していく部分もありますが今後も自分から進んで運動を楽しむ力の育成を目指して取り組んでいきます。

また、「オール市野谷」の取り組みとして、子どもたちを支えていただく組織として今年度「市野谷 ボランティア親の会」「おおたかの森地区 コミュニティスクール」が新設され、こらからの本校の子どもたちを支える土台を築いていただいたことに感謝申し上げます。

「旗振り活動」や「読み聞かせボランティア」「ミシンボランティア」「公園探検のサポート」など保護者の方々のボランティア活動として、「子どもたちのために」を合言葉に多くの方々からのご協力をいただき、本校の教育活動の充実を図ることができました。ありがとうございました。

引き続き、学校と家庭、地域が手を携えながら子どもたちのために「共に育てる」教育を進めて参りたいと思います。1年間ありがとうございました。

校長 松山 秀行